



県が営業支援策へ動く！ 党県議団に副知事回答

営業を守る施策を 知事に緊急要望

影響から営業を守るための緊急要望書を提出し

●28日、私たち
県議団は、浜田
県知事に対し
「新型コロナウイルス感染症の

ました。

感染爆発による直近一週間の感染者数は非常事態となる420人を2倍近く超える約900人、国に対して「まん延防止等重点措置」の適用を要請すべき状況。この感染爆発のなか飲食店街への人通りは激減し経営を直撃！「このままでは営業を続けていけない」との悲痛な叫びと県知事の対応へ怒りが議員団に届けられていました。

申請の簡素化、迅速な支援 2月の早い時期の実施を

●31日、党議員団に対応した副知事（左写真）は、私たちの「2年以上

上の厳しい経営状況は国の売上減少30%以上だけでは救われない、県独自の支援策実施を」との要望に対し『県の担当部署に対し、国の「事業復活支援金」で足らざる部分を県としてどうするか、ケーススタディーを担当部署に指示した』と述べ、「事業復活支援金」の迅速な給付に向け周知徹底も図るとも述べた。2月早期実施の求めには、「出来るだけ早期にしたい」と答えました。



★「ARTIST FOCUS」の第2回として高知県田野町出身の平川恒太個展。第5福竜丸をモチーフにした「死の島」、その島は長崎も広島もモチーフに！案内チラシは「戦争や原爆、原子力発電所事故といった人類の負の記憶を、いかに形象化したか。警鐘を鳴らし、継承していくか。3つの意味を持たせるため、あえてカタカナの「ケイショウ」をテーマに掲げる平川」と！極めて興味深い個展だ。2月19日午後2時平川氏と学芸員の対談有。但し定員20名先着順。

平川恒太—Cemetery 祈りのケイショウ 高知県立美術館 2月25日(金)まで



《死の島(第五福竜丸)》2018年 タグチ・アートコレクション